

信頼される学校づくりに向けての不祥事防止対策

1 飲酒運転の根絶

- 飲酒運転根絶に向けた共通認識と共通行動のための対策
 - ・公私を問わず酒席に参加し飲酒する場合は、自家用車を使用せず、家族の送迎や公共交通機関を利用する。
 - ・公私を問わず酒席に参加し飲酒する場合は、家族に帰宅方法を知らせる。

2 体罰、暴言等行き過ぎた行為、不適切な指導等の根絶

- 体罰等根絶に向けた共通認識と共通行動のための対策
 - ・人権問題を直感的に捉える感性や人権への配慮が態度や行動に表れるよう、継続的に研修を実施する。
 - ・生徒理解と信頼関係の構築を強化する。（生徒の良さや頑張りを認める）
 - ・共通理解と協働体制の構築を強化する。（生徒指導情報の共有化、適切な役割分担）
 - ・研修を充実させ、適切な指導ができるようにする。（授業力・部活指導力の向上、定期的なセルフチェックの実施）

3 性的な関心や欲求に基づく、わいせつ事案等の根絶

- わいせつ事案の根絶に向けた共通認識と共通行動のための対策
 - ・生徒を指導する際は、原則生徒との1対1の場面をつくらない。（ドアや窓を開けて密室をつくらない。）
 - ・教室にスマートフォンを原則持ち込まない。
 - ・私物のカメラやスマートフォンで生徒を撮影しない。
 - ・教職員と生徒、保護者がSNS等でやり取りする事を禁止する。

4 個人情報の適正な管理保管の徹底

- 個人情報の紛失、流出、誤廃棄根絶に向けた共通認識と共通行動のための対策
 - ・原則校外に個人情報（テストやUSB等）を持ち出さない。
（持ち出す場合は、管理職に許可を得て、帯出記録簿に記載する。返却時の確認をする。）
 - ・学校内で業務に使用するパソコン本体に個人データを保存しない。（行方市の共有サーバーに保存する。）
 - ・外部にメールを出す場合やホームページをアップする場合は、二人以上で目視確認を行う。

5 その他

- 盗撮の根絶に向けた共通認識と共通行動のための対策
 - ・校内の整理整頓に努める。（段ボール等の撤去）
 - ・校内巡視及び点検の強化（月1回の安全点検・管理職による日々の点検を盗撮カメラ発見機を活用して実施する。特にトイレ・更衣室・保健室は不審物がないか複数人で確認する。）
 - ・違和感を感じたら、同僚や管理職に話せる風通しのよい職員室の雰囲気をつくる。

行方市立玉造中学校では、教職員の服務規律の確保の徹底を図るために、継続的・計画的に校内研修を実施し、教職員の不祥事を根絶し、信頼される学校をつくってまいります。

令和8年4月 行方市立玉造中学校長